



各種イベントのご案内

■ 理化学研究所 ■ シンポジウム

「ダイバーシティの推進に向けて -無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)の視点」

開催日	2018年2月14日(水) 10:00-12:00 ※終了後に交流会を行います(12:00-13:00 広沢クラブ)
場所	理化学研究所 脳科学池之端研究棟 3階大会議室 (埼玉県和光市広沢2-1)
対象	一般/研究者
言語	日英(同時通訳あり)
参加費	無料
定員	100名 先着順 ※事前申し込み制
詳細	ダイバーシティの推進に向けて 登録フォーム
ポスター	PDF(546KB)
問合せ	理化学研究所ダイバーシティ推進室 Tel: 048-467-9428 Email: diversity-jimu[at]riken.jp ※[at]は@に置き換えてください。



ダイバーシティの推進に向けて
～無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)の視点～

プログラム
主催者挨拶
松本 崧 理化学研究所 理事長
来賓挨拶
佐野 太 氏 文部科学省科学技術・学術政策局長 (予定)
基調講演
「アンコンシャス・バイアスをもたらすもの」
筑波科学技術大学院大学 (OIST)
副学長 (男女共創参画・人材育成担当) ティル・ウス・マチ 氏
パネルディスカッション
「ダイバーシティ推進に向けて
～無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)の視点～」
<モデレーター>
塩岡 典子 理化学研究所 ダイバーシティ推進室長代理
<パネリスト>
松本 洋一郎 理化学研究所 理事・ダイバーシティ推進室長
小谷 元子 理化学研究所 理事
工藤 雅由美 氏 大阪大学 理事・副学長
菅原 悦子 氏 岩手大学 理事・副学長
藤井 良一 氏 情報・システム研究機構 機構長
畑田 香織 氏 埼玉大学 副学長
※終了後交流会(12:00-13:00 広沢クラブ)

日時 平成30年2月14日(水)
10:00 - 12:00
会場 脳科学池の端研究棟 3階大会議室
〒851-0198 埼玉県和光市広沢2-1
理化学研究所内
<http://www.riken.jp/access/wako-man/>
参加費 無料
言語 日英(同時通訳あり)
参加申込 下記URLからお申し込みください。
<https://cca.riken.jp/diversity>

主催 国立研究開発法人理化学研究所 ダイバーシティ推進室
お問い合わせ先 TEL: 048-467-9428 E-mail: diversity-jimu@riken.jp



各種イベントのご案内

■ 千葉大学 ■ 平成29年度 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型） 「第3回ダイバーシティCHIBA研究環境促進コンソーシアム連絡会～無意識のバイアスとダイバーシティ推進～」 および「共同研究推進のためのポスター発表・交流会」

開催日	平成30年3月16日（金） 13：30-15：00 ミニレクチャー『無意識のバイアス－Unconscious Bias－とダイバーシティ推進』（参加事前申込制） 15：00-17：00 共同研究推進のためのポスター発表・交流会（事前申込不要・途中入退場自由）
場所	千葉大学 西千葉キャンパス アカデミックリンクセンター I 棟1F ミニレクチャー：コンテンツスタジオ（ひかり） 共同研究ポスター発表：セミナールーム（まなび）
対象	大学教職員、企業関係者、その他本テーマに興味・関心のある方。 コンソーシアム参加機関以外からの参加も歓迎いたします。
申込	ミニレクチャー：事前登録制 【お名前（ふりがな）、所属・身分、連絡先（電話・E-mail）】をご記入いただき、E-mailまたは、TEL、FAXにてお申し込みください。 詳細 1、2



第3回 ダイバーシティCHIBA
研究環境促進コンソーシアム連絡会
ミニレクチャー・情報交換
共同研究ポスター発表会

**無意識のバイアス
-Unconscious Bias- と
ダイバーシティ推進**

2018年
3月16日(金)
13:30~17:00

千葉大学西千葉キャンパス
アカデミックリンクセンター
1階 ひかり・まなび

「無意識のバイアス(Unconscious Bias)」とは、誰もが潜在的に持っているバイアス(偏見)で、その対象は、性別、人種、職業など様々です。「女性だから厳やかならぬいける」や「男性は家庭よりは事を優先すべき」といった見込みもその一つです。多様な立場や経験をきっかけがきっかけでダイバーシティ推進の実現には、無意識のバイアスの存在を理解し、その影響を最小限に抑えることが必要です。そこで今回は、男女共同参画推進部主催で、無意識のバイアスの啓発活動に積極的に取り組んでいるらっしゃる、大学内外の研究者を講師にお招きし、無意識のバイアスがダイバーシティ推進にどのような影響を及ぼしているのかについて、具体的な事例を交えながらご紹介いたします。ミニレクチャー終了後は、コンソーシアム参加機関の研究者によるポスター発表・交流会を開催します。資料の授受交流により、共同研究に繋がることが期待されています。ぜひお合わせてご参加ください。

ミニレクチャー 講師
日本大学
薬学部 薬学研究所
上原 研子 氏
大坪 久子 氏

ミニレクチャー 講師
日本大学
薬学部 薬学研究所
上原 研子 氏
大坪 久子 氏

コンソーシアム参加機関の研究者による共同研究推進のためのポスター発表・交流会
※ 事前申込不要・途中入退場自由

参加申し込み、問い合わせ先
千葉大学運営基盤機構 男女共同参画推進部門
TEL&FAX 043-290-2020
E-mail: dso@nims.go.jp

対象者
大学教職員、企業関係者、その他本テーマに興味・関心のある方。コンソーシアム参加機関以外からの参加も歓迎いたします。

**【再掲】お知らせ****第2回 DSO懇話会**

【日時】 2018年2月15日（木） 13：30～17：15

（13：30-14：30は、森林総研主催の講演会です。ぜひご参加ください。）

【場所】 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 本館2階 大会議室

【申込】 出席者ご氏名と各出欠席（講演会／DSO懇話会／交流会）を

DSO事務局までメールでお知らせ下さい。

kyodosankaku@nims.go.jp

【対象】 DSO参加機関のみ対象

【当日スケジュール】

13：30～14：30 **森林総研 講演会**

（仮）**LGBTに関する筑波大学の取組について**

河野禎之先生（筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター）

14：45～17：15 **DSO懇話会**

（1）各機関における定年後のキャリア支援について

（2）女性管理職の現状と今後の増加に向けた取組み

17：20～18：20 **DSO交流会**（費用はお一人1,000円予定）

DSO事務局より

2013年の改正高齢者雇用安定法の施行により、企業は次の3つのうちのどれかを選択しなければならなくなりました。

- ① 定年の引き上げ ② 継続雇用制度の導入 ③ 定年の定め廃止
大半の企業は、上記2番目の「継続雇用制度の導入」で対応しています。

これは、「定年再雇用」などと呼ばれますが、このようにして雇用されているセミリタイア組の多くが、現状を嘆き、悩んでいると本書の著者である楠木 新氏は言います。悩みのパターンはさまざまですが、そもそもそのような状況に陥らないために、著者が提案するのは、「50代から“定年後”を検討すること」 だそうです。



その「検討」をするために、組織はどのような支援ができるでしょうか。定年後を見据えたキャリアチェンジ、マインドシフトなどの研修も多くありますが、どの程度有効でしょうか。

2月15日のDSO懇話会では、「定年後のキャリア支援について」をテーマとして取り上げます。皆さまのご意見を多くお聞かせいただき、問題意識や情報の共有をさせていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(岩澤)

ダイバーシティサポートオフィスのご案内

ダイバーシティ・サポート・オフィス（DSO）は、研究教育18機関をメンバーとして、平成19年より男女共同参画を連携して推進しています。参加機関相互のイベント等の機会提供、情報交換を行っています。当初は、科学技術振興調整費の支援を受けてスタートしましたが、現在はイコールパートナーシップでメンバーが対等に運営する、より開かれたDSOとして活動しています。

*DSOメンバー：産業技術総合研究所、森林総合研究所、物質・材料研究機構、農業・食品産業技術総合研究機構、千葉大学、筑波大学、神戸大学、土木研究所、国立環境研究所、国際農林水産業研究センター、防災科学技術研究所、高エネルギー加速器研究機構、理化学研究所、宮崎大学、上智学院、岡山大学、宇宙航空研究開発機構、大阪大学（加入順）

「DSO News Letter」は各DSO参加機関へ、それぞれの機関で働く方へ、また広く外部に向けて情報発信するツールとして発行しております。当Letterの紹介も歓迎いたします。